

先週に続いて多くの実を望まれる神様②という題で主の御ことばを伝えます。イエス様はご自身が葡萄の木であると喩えてお話をしたのはご自分から真のイスラエルが出来るという意味があります。旧約時代からイスラエルは選民、つまり神に選ばれた神の民である認識があってそのイスラエルを葡萄の木に喩えられて来ました。イエス様は血統的なイスラエルではなく自分から真のイスラエル、神の民たちが生じるという意味をもってこの喩えを取り上げています。先週、神様はご自分の民たちに多くの実が結ばれることをすごく期待していて実を結ぶために剪定もするということを学びました。それで神様が願う実ということは神の子イエス・キリストに似て行く人格の成長、成熟と神様に喜ばれるすべてのことであるということ学びました。わたしたちの目標ということはまず、自分の人格の成長、成熟の面を向けて定めなければならないです。

まず、人格の成長の目標はイエス・キリストです。

エペソ4:15

むしろ、愛をもって眞理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達することができるためなのです。 Instead, speaking the truth in **love**, we will in all things grow up into him who is the Head, that is , Christ. 오직 **사랑** 안에서 참된 것을 하여 범사에 그에게까지 자랄지라 그는 머리니 곧 **그리스도**라 惟用爱心说诚实话，凡事长进，连于元首基督。

イエス・キリストにとどまりなさい。

先週私たちは神様が弟子たちや信じる人々に対して多くの実を期待しておられることをみました。しかし、一つ驚くべきことは 私たちに実を結びなさいという命令はなかったことです。ヨハネ15章を全部読んでもそのような命令が一箇所もありません。ないです。むしろブドウは自然に結ばれるとなっています。

4節見ましょう。

わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。 Remain in me, and I will remain in you. No **branch** can bear **fruit** by itself; it must remain in the vine. Neither can you bear **fruit** unless you remain in me. 내 안에 거하라 나도 너희 안에 거하리라 **가지**가 포도나무에 붙어 있지 아니하면 스스로 **열매**를 맺을 수 없음 같이 너희도 내 안에 있지 아니하면 그리하리라 你们要常在我里面，我也常在你们里面。枝子若不常在葡萄树上，自己就不能结果子。你们若不常在我里面，也是这样。

そうです。枝は枝だけでは実を結ぶことはできません。枝が出来ることは木につくだけです。土から栄養分と水分を吸い上げて枝に充分に供給します。枝はそれを受け止めて食べます。仕事は木が全部行います。それで葉っぱが出て花が咲いてついに

実が結ぶことになります。.

私たちも同じです。私たちが自ら実を結ぼうともだえる必要はないです。実を結ぶことはもだえることによってできることではないです。私たち出来ることは一つです。ブドウの木であるイエス・キリストにぐっとくっつくことです。実を多く結びなさいと言えずわたしにとどまりなさいという命令だけ繰り返す理由がここにあるのです。本文 1 節から10節まで中にとどまるという表現は十回くらい繰り返して出ています。そのくらい重要であるから繰り返して強調しています。

4 節が代表的な御ことばでありますがわたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。ですから私たちはイエス・キリストにかならずとどまることです。.

私たちがイエス様にとどまるということは神様の特別な御めぐみによってできることですがその中でも私たちの信仰の努力は必要であることです。イエス・キリストを信じれば自動的にイエス・キリストにとどまることではないかという質問があるかもしれない。そうです。わたしが神様御前で罪を知り、その罪を認めてすくい主イエス様を受け入れて信じて洗礼を受けた者であれば確かにイエス・キリストにとどまる関係であると言えます。しかし、ある人の戸籍が受け入れたとしてもその家の人のように生きるためには努力が必要です。.

それでイエス・キリストにとどまるということはどういう意味でしょうか。イエス・キリストを中心としていつも交わりが出来ている関係であります。黙示録3;20

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。Here I am! I stand at the door and knock. If anyone hears my voice and opens the door, I will come in and eat with him, and he with me. 볼지어다 내가 문 밖에 서서 두드리노니 누구든지 내 음성을 듣고 문을 열면 내가 그에게로 들어가 그와 더불어 먹고 그는 나와 더불어 먹으리라 看哪，我站在门外叩门。若有听见我声音就开门的，我要进到他那里去，我与他，他与我一同坐席。

イエス・キリストにとどまらない生き方とはイエス様心の外に立たせていく生活であります。

御ことばを心に受け止める。

そうしたら私たちがイエス様を心に受け入れてそのイエス様にとどまる生活するためにはどのような努力をしなければならないのでしょうか。本文 7 節は二つの秘訣を提示しています。

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。

If you remain in me and my words remain in you, ask whatever you wish, and it will be given you. 너희가 내 안에 거하고 내 말이 너희 안에 거하면 무엇이든지 원하는 대로 구하라 그리하면 이루리라 你们若常在我里面，我的话也常在你们里面，凡你们所愿意的，祈求就给你们成就。

ここでわたしのことばと求めなさいという表現に注目して下さい。この二つは御ことばと祈りです。5節と比較してみますとわたしとわたしのことばが同格であることが分ります。イエス様のおことばを信じて受け入れることはイエス様ご自身を受け入れることです。

何でもの祈り

それで御ことばをいつも黙想すると共にもう一つしなければならないのは祈りです。7節に主の御ことばがとどまることになれば何でも求めなさいということです。ここでの何でもという表現に誤解する人々がいます。わたしたちの願うことのすべてことであるとおもいますが違います。主の愛を悟れば悟るほど主が願うことが成し遂げられるように祈るすることになります。

先週御ことばに対して二つのことを学びました。耳に聞こえる御ことばと目に見えることばでした。耳に聞こえる御ことばということは神様の御ことばである66巻の聖書から語られることです。目に見えることばとは聖餐式と洗礼であります。現実的にイエス・キリストにとどまるということは地域の教会に属することも含まれています。

真の教会のしるし The Marks of the True Church 참된교회 표지 真教會的标记

- 1) 神の御ことばの真実な説教(The true preaching of the Word of God) 말씀의 참된 선포 上帝之道的真道
- 2) 聖礼典の正しい執行(The right administration of the sacraments) 성례의 정당한집행 圣礼的正确管理
- 3) 規律の忠実な行使 (The faithful exercise of discipline) 권징의 신실한 시행 忠诚行使纪律

イエス様の御ことばから霊的な力を受ける、またその訓練に服すことを意味します。名目的信者は説教を通して霊的な力を受けない、その訓練に服しようとしません。しかし、本当にイエス様を信じる聖徒は説教を通して神の御ことばを受け入れてその御ことばに従います。キリストの御体である教会に属しないとこのような主の共同体に与えられる御恵みを受けることが出来ません。次の御ことばを見ましょう。神様が望む実がない、勝手な信仰生活を営んだ人々の最後の悲劇です。

マタイ7:20-23

こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

Thus, by their **fruit** you will recognize them. "Not everyone who says to me, 'Lord, Lord,' will enter the **kingdom of heaven**, but only he who does the will of my Father who is in **heaven**. Many will say to me on that day, 'Lord,

Lord, did we not prophesy in your name, and in your name drive out demons and perform many miracles?' Then I will tell them plainly, 'I never knew you. Away from me, you evildoers!'

이러므로 그들의 열매로 그들을 알리라나더러 주여 주여 하는 자마다 다 천국에 들어갈 것이 아니요 다만 하늘에 계신 내 아버지의 뜻대로 행하는 자라야 들어가리라 그 날에 많은 사람이 나더러 이르되 주여 주여 우리가 주의 이름으로 선지자 노릇 하며 주의 이름으로 귀신을 쫓아 내며 주의 이름으로 많은 권능을 행하지 아니하였나이까 하리니 그 때에 내가 그들에게 밝히 말하되 내가 너희를 도무지 알지 못하니 불법을 행하는 자들아 내게서 떠나가라 하리라

所以凭着他们的果子，就可以认出他们来。凡称呼我主阿，主阿的人，不能都进天国。惟独遵行我天父旨意的人，才能进去。当那日必有许多人对我说，主阿，主阿，我们不是奉你的名传道，奉你的名赶鬼，奉你的名行许多异能麼。我就明明的告诉他们说，我从来不认识你们，你们这些作恶的人，离开我去吧。

何よりも自分に神様が願う実、つまりイエス・キリストに似て行く人格の実のために祈りべきであります。忠実な教会を中心の生活を通して御ことばを受け入れてその御ことばをもって祈りに励むことです。